

2019年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査
 経営上の課題、取引先企業に関する大企業—中小企業比較

1. 調査概況

実施時期：2019年8月26日～9月24日

在マレーシア企業回答数：299社（うち、大企業205社、中小企業94社）

2. 経営上の問題点

2018年度に比べると、大企業と中小企業の問題点の差が縮小した。特に、2018年度に中小企業が2位（58.0%）、大企業が6位（47.1%）に挙げた「調達コストの上昇」は、2019年度は双方ともに43%台となった。他方、「新規顧客の開拓が進まない」「人材（一般ワーカー）の採用難は引き続き、大企業に比べ、中小企業の方が深刻な問題点ととらえている。

<2019年度 経営上の問題点上位>

	総数	大企業	中小企業	中小—大	大企業 順位	中小企業 順位
1 従業員の賃金上昇	67.0	70.0	60.4	-9.5	1	2
2 品質管理の難しさ	66.5	66.4	66.7	0.3	2	1
3 従業員の質	53.7	58.1	44.0	-14.2	3	6
4 競合相手の台頭(コスト面で競合)	53.2	56.4	46.1	-10.3	4	5
5 限界に近づきつつあるコスト削減	47.2	46.2	49.1	3.0	6	4
6 新規顧客の開拓が進まない	46.1	42.1	55.1	13.0	8	3
7 現地通貨の対ドル為替レートの変動	43.5	46.5	37.0	-9.6	5	12
8 調達コストの上昇	43.5	43.3	43.9	0.6	7	7
9 主要販売市場の低迷(消費低迷)	41.6	42.1	40.5	-1.6	9	9
10 従業員の定着率	38.1	40.4	33.0	-7.4	10	13
11 原材料・部品の現地調達の難しさ	37.9	36.5	40.4	3.8	11	10
12 人材(技術者)の採用難[製造業のみ]	37.4	20.2	23.1	2.9	21	20
13 取引先からの発注量の減少	37.0	34.9	41.6	6.7	12	8
14 人材(一般ワーカー)の採用難[製造業のみ]	34.3	14.3	30.8	16.5	32	14
15 主要取引先からの値下げ要請	32.0	29.7	37.1	7.3	13	11

(出所) ジェトロ「2019年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」

<参考：2018年度 経営上の問題点>

	総数	大企業	中小企業	中小—大	大企業 順位	中小企業 順位
1 従業員の賃金上昇	66.7	68.0	64.0	-4.0	1	1
2 品質管理の難しさ	59.3	62.4	54.0	-8.4	2	4
3 従業員の質	54.8	54.1	56.2	2.1	4	3
4 調達コストの上昇	51.1	47.1	58.0	10.9	6	2
5 競合相手の台頭(コスト面で競合)	50.6	54.8	42.5	-12.2	3	7
6 現地通貨の対ドル為替レートの変動	47.1	52.9	35.6	-17.3	5	13
7 原材料・部品の現地調達の難しさ	43.7	44.7	42.0	-2.7	7	8
8 人材(一般ワーカー)の採用難[製造業のみ]	39.1	33.0	50.0	17.1	15	5
9 新規顧客の開拓が進まない	38.8	33.9	48.3	14.4	13	6
10 人材(技術者)の採用難[製造業のみ]	37.7	37.5	38.0	0.5	10	9

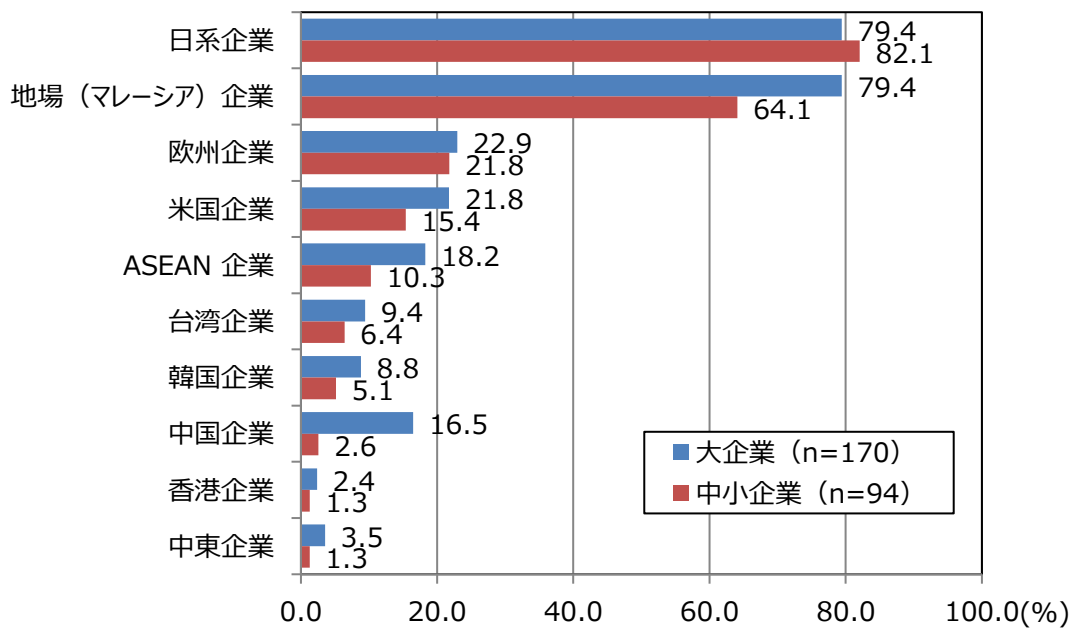
(出所) ジェトロ「2018年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」

3. マレーシア国内の取引先企業の国籍

現在取引がある企業の国籍として、進出日系企業を挙げた比率は、大企業に比べ、中小企業の方が高い。地場企業を挙げた比率は、大企業が8割弱に対して、中小企業は64%と大きな差があった。

今後新規開拓したい取引先企業の国籍として、中小企業では進出日系企業、地場企業を挙げる比率が約7割だった。中小企業では、そのほか、米国企業、欧州企業、台湾企業への開拓への関心が大企業と比べて高い。

<マレーシア国内の取引先企業の国籍（現在）>



<マレーシア国内の取引先企業の国籍（今後新規開拓したい）>

